

温湿度監視状況通報システム

1. 機能概要

各種のセンサーに付属するロガーが出力するデータをチェック。
指定範囲外に数値が達したとき規定のメッセージを指定先にメール送信します。

ログ監視を行えるセンサーは最大14個

ログファイル1行に複数のセンサーデータが存在する場合、同時にチェックを行えます。

その他の機能

- 異常値発生の場合の緊急監視モード搭載
- 監視対象のログデータのみを個別ファイルで保存
- ログデータの読み込み間隔を設定可能
- メールの送信先は最大3ヶ所、ファイル添付も可能
- メール送信ログ出力機能も装備

ステップ 1 チェックを行うログデータの開始位置、長さを設定ファイルに記述する。

ステップ 2 チェック対象のログファイル格納先を設定後、
メールアドレスやチェック範囲、間隔をシステムに設定。

ステップ 3 システムを起動させ、自動監視モードで常駐させる。

要必須 メール送信のために、Outlook Express を使用します。